

<対策のポイント>

養蜂振興のため、蜜源植物の確保や植栽状況の実態把握、蜂群配置調整の適正化やダニの防除手法を中心とした飼養衛生管理技術の普及に向けた取組を支援します。また、花粉交配用昆虫の安定確保を図るため、園芸産地・養蜂家・花粉交配用昆虫（マルハナバチ、ヒロズキンバエ等）メーカーの連携や在来種マルハナバチの利用拡大、健全な蜂群の供給に向けた技術導入の取組を支援します。

<事業目標>

○ 蜜源植物の植栽面積拡大や適正な蜂群配置調整、ダニ被害低減による蜂群数増加（21万5千群〔令和元年度〕→30万群〔令和11年度まで〕）

○ セイヨウオオマルハナバチから在来種マルハナバチへの転換の加速化

<事業の内容>

1. 蜂群配置調整適正化支援

① 蜂群配置調整の適正化に向けた環境整備のため、樹木を中心とした蜜源植物の植栽・管理等の取組、耕蜂連携による蜜源植物の定着化に向けた実証を支援します。

② 適正な蜂群配置調整の参考となる蜜源植物の位置や種別、蜂群の位置情報等の関連データを蓄積・活用するための検討会の開催や地図データの作成を支援します。また、飼育届に付帯する蜜源・採蜜成績等をデジタルデータ化し、蜂群数、気象等との相関を分析する取組を支援します。

2. 花粉交配用昆虫の安定確保支援

① 園芸産地において、養蜂家等と連携して花粉交配用昆虫を安定的に確保・利用するための計画の作成や蜜蜂の適切な利用技術、園芸農家の需要を充足するための蜜蜂増産の取組、蜜蜂以外の昆虫による受粉技術の実証等を支援します。また、特定外来生物であるセイヨウオオマルハナバチから在来種マルハナバチへの転換実証を支援します。

② 養蜂家による花粉交配用蜜蜂の供給体制を強化するための蜂群の低温管理技術や蜜蜂への輸送負荷の低い転飼技術の実証などの取組を支援します。

3. 飼養衛生管理技術向上支援

ダニの防除手法を中心とした飼養衛生管理、蜜蜂の飼養管理の高度化のための技術の普及などの取組を支援します。

<事業の流れ>

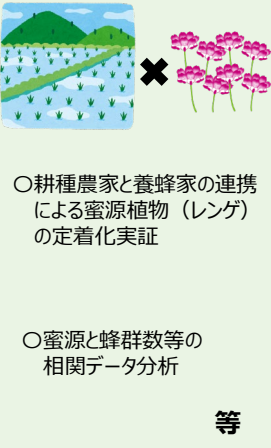
<事業イメージ>

養蜂を取り巻く課題解決に向けた取組

1. 蜂群配置調整適正化に向けた取組



○蜜源植物の植栽・管理



○耕種農家と養蜂家の連携による蜜源植物（レンゲ）の定着化実証

○蜜源と蜂群数等の相関データ分析

等

2. 花粉交配用昆虫安定確保に向けた取組



○園芸農家と養蜂家等による、花粉交配用昆虫安定確保・利用のための計画作成、実証



○特定外来生物であるセイヨウオオマルハナバチから在来種マルハナバチへの転換実証



○蜂群の低温管理技術の実証



○輸送負荷の低い転飼技術の実証等

3. 蜜蜂の飼養衛生管理技術向上に向けた取組

○蜜蜂に寄生するダニ被害低減のための防除手法等の衛生管理技術の向上

○養蜂家の高齢化や人手不足等に対応するための、飼養管理方法の高度化・省力化

国

定額

協議会、民間団体等

【お問い合わせ先】

（1、2②、3の事業） 畜産局畜産振興課 （03-3591-3656）

（2①の事業） 農産局園芸作物課 （03-3593-6496）